



学校だより/姫川原小

HP <http://azalea.ac.city.myoko.niigata.jp/himega-s/>

最終号



「ありがとう 姫小」

校舎の西階段に、三十年後の姫川原と題した大きな卒業記念作品が飾られている。現在保護者になっている世代が作ったものだ。その未来予想図には、新幹線が描かれていた。

折しも北陸新幹線が先日開通した。予想通り三十年後に新幹線は通ったが、学校がなくなるとは想像すらしなかっただろう。作品の中には、グラウンドで大勢の子どもたちが遊んでいる。

終わりの心境を詠む辞世の句とは言うものの、学校の終わりを何と表現しよう。今は「ありがとう」という言葉しか見つからない。子どもたちには新しい新井小での生活が待っている。我々にも、また新しい子どもたちが待っている。定めとは言え、精一杯頑張ってきた職員の今の心境は、寂しさが先行する。我々の心境を代弁するかのようにサツちゃんの背中が語っている。

私がお留守番をしているよ。

今日も元気に行っておいで。

けんかをしちやいけないよ。

困っている人がいたら助けてね。

私は動けないから…。

今年の雪は重たかったな。

今は緑の風がふいているよ。

今年のブドウは甘いかな？

みんなのいなくなったグラウンドの

いつも同じベンチで待っているね。

地域の皆さま、保護者の皆さま、大変お世話になりました。今回をもちまして学校便り最終となります。「ありがとう 姫小」

第68回卒業証書授与式・閉校式

3月24日に卒業式、翌25日に閉校式をとり行いました。68回の歴史を重ねた最後の証書番号は1,871号となりました。最後の卒業式の案内を地域に呼びかけた所、この学び舎から巣立った記念すべき第1回目の卒業生が式に参加下さり、卒業生・職員共々感激しました。これまで直接お世話になった方々や、大先輩に見守られる中、12名の卒業生は元気よく巣立っていきました。

閉校式では、一人一人のよさを紹介する「なかよしカルタ」を基に、58人の名前を子どもたちが紹介し合い最後まで姫小らしく幕を閉じました。

姫小の思い出を季節毎に描いた「絵手紙」を額に入れて記念がまた一つ増えた6年生です。



シンボルタワー情報

19日の夜、昭和56年から平成6年までの卒業生（保護者中心）を集め、シンボルタワー開封に向け、組織作りとしての第一歩が動き出しました。タイムカプセルを入れたかどうかではなく、閉校になっても同窓生の結束に心強く思った夜でした。

お世話になりました!



職員14名、新たな任地で、爽やかな風となるよう頑張ります。